

県民の皆さんの取組状況

順不同

取組団体名	取組事例
BPWクラブ和歌山	<p>★ イコール・ペイ・ディ広報活動(4月7日)(6名) 街頭啓発(JR駅前) 関係機関へのアピール訪問(和歌山県庁等)</p> <p>★ 第8回日本BPW連合会総会・香川大会参加(5月27日、28日)(4名) 基調講演 「ケニアからのメッセージ～もったいないの心を通して女性の活躍を～」 講師：ゴードン・サイラス・ムアンギ氏 (ケニア生まれ、四国学院大学教授)</p> <p>★ 「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」 (内閣府共催事業)及び近畿ブロック研究会(11月18日)(37名+121名) 「女性の活躍で和歌山が輝く！」～みんなで作る50/50～ 《トーク&トーク》 出演者：内閣府男女共同参画局 武川 恵子局長 太洋工業(株)代表取締役社長 細江 美則さん (有)ViVifala島ゆかこ代表取締役 島 由佳子さん コーディネーター：NPO法人日本BPW連合会理事長 平松 昌子 《問題提起》 問題提起者：株式会社松源 西庄店店長 堀口 由記江さん 「国連女性の地位委員会」イベント参加者 川合 里沙さん 紀の川市食育推進会議会長 三國 和美さん 《グループディスカッション》 全体コーディネーター：和歌山大学准教授 金川 めぐみさん アドバイザー：内閣府男女共同参画局 武川 恵子局長 NPO法人日本BPW連合会理事長 平松 昌子 NPO法人日本BPW連合会副理事長 名取 はにわ 《ヤングスピーチコンテスト》 香川クラブ：井本 景子さん 和歌山クラブ：湯瀬 明日香さん、山口 孝代さん、荒井 沙友里さん</p> <p>★ 例会(毎月第三土曜日13:30～15:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」 (内閣府共催事業)及び近畿ブロック研究会開催について協議 (4月15日)(5名) ・総会：2017年度総会(5月20日)(11名+2名) 記念講演 「ひたむきにひたすら歩んでゼロ市場から年間550万個市場へ」 講師：松本 章子さん(株)おはなはん代表取締役社長) ・「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」 (内閣府共催事業)及び近畿ブロック研究会開催打ち合わせ (6月17日)(7名) ・学習会「ファシリテーターのコツと心得」(7月15日)(9名) 講師：船越 勝さん(和歌山大学教育学部教授) ・フィールドワーク 京都迎賓館見学(9月2日)(7名) ・「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」 (内閣府共催事業)及び近畿ブロック研究会開催について協議 (9月16日)(7名) ・「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」 (内閣府共催事業)及び近畿ブロック研究会開催打ち合わせ (10月21日)(9名) ・卓話 「ネパールの女性事情～青年海外協力隊が見たこと・感じたこと～」 講師：中嶋 悦子さん(青年海外協力隊OB)(12月16日)(6名) ・新年会&事業検討 第二富士ホテルにて(1月13日)(7名+1名) ・オープン講座(和歌山クラブヤング会員の企画例会)(2月17日) (11名+16名) 「冠婚葬祭のマナー～相手への心配りをカタチにかえて伝える～」 講師：羽山 京子さん(日本現代作法会総師範、フリーアナウンサー) ・イコール・ペイ・ディ及び新年度事業打ち合わせ(3月17日)(5名)

第4章 県民の皆さんの取組状況

取組団体名	取組事例
GEはしもとサピュイエ	<ul style="list-style-type: none"> ★ 平成29年4月 設立 ★ 橋本市「まなびの日」参加 於) 県立橋本体育館(11月26日) パープルリボン(女性への暴力防止)の啓発活動を行う。中高生のデートDV防止啓発ポスターを展示。アンケートやクイズを実施、オリジナル啓発グッズを配布。 ★ 和歌山県男女共同参画センター「りいびる」企画提案事業「落語で男女共同参画～じゃんだーはらすめんって何？」橋本市民会館ギャラリーにて実施。(12月3日)(61名参加)
HML (ハッピーママライフ)	<ul style="list-style-type: none"> ★ 託児付き 家庭教育支援講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・タッチケア講座 ・筆ペン教室 ・浴衣着付け教室 ・整理収納講座 ・CAPおとなワークショップ (いじめを予防するために～家庭の役割とは～) ★ 御坊市立図書館託児サービス 「やすまんせ」の開催 毎月第1金曜日 10時～11時30分まで ★ CAP(子どもへの暴力防止)事業の実施 御坊市内や近隣市町村の小学生を対象にCAP子どもワークショップを実施
ITO☆WINN	<ul style="list-style-type: none"> ★ かつらぎ町WHP(かつらぎ町の女性による人権と平和を考える会)に参加 <ul style="list-style-type: none"> ・会議及び研修会：理事会、代表参加 ・研修会：大阪市環境局舞洲工場見学 ★ 落語で男女共同参画を考える(会員参加) 橋本市民会館 じゃんだーはらすめんって何？&参加者同士のグループトーク 男女共同参画落語制作・口演家 千金亭 値千金 ★ 会員間お楽しみ交流(11月：年忘れ(忘年会)の会) ★ 笠田公民館サークル発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画和歌・童謡替え歌展示(10月23日～28日) ★ 和歌山県男女共同参画審議会へ審議委員として参加(会員) ★ 総会・定例会(月1回 第4木曜日)開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報及び旬の出来事について討論する ≡≡≡講座：国際ブチミストの活動について(女性と女児の生活と地位を向上させるための奉仕活動を行う女性の世界的組織) ≡≡≡学習：災害と女性、自己責任女性相談買い物代行、女性を支える復興 ≡≡≡講座：18歳と81歳の違い ≡≡≡学習：【徘徊高齢者を守るシール】SOSシールについてのお話を聞く【認知症家族の会】 ≡≡≡講座：ボーイズラブ ポーの一族 ≡≡≡講座：ジビエについて(ジビエとはフランス語) ≡≡≡学習：会員文化を訪ねて 京都五山の旅 葛飾北斎 ≡≡≡学習：こども食堂についてのお話 貧困家庭 ≡≡≡学習：厚生女性会よりのお話・BBS。 こどもシェルター 刑務所(年代高い。介護施設のよう。) <p>※会としてレジメ、議事録毎回発行(全員で情報共有)</p>
JA和歌山中央会	<ul style="list-style-type: none"> ★ JA女性役員研修会の開催(8月) <ul style="list-style-type: none"> ・1泊2日で研修を実施。県内JA女性役員26名が参加。講義、意見交換等を行った。 ★ 県女性会と中央会・連合会役員との対話集会の開催(12月) <ul style="list-style-type: none"> ・女性会役員および中央会・連合会役員等の参加により、JA自己改革の取組内容やJA事業等について意見交換を行った。 ★ JA運営等についての学習会 <ul style="list-style-type: none"> ・県JA女性組織連絡会議およびリーダー研修会において毎回開催(年5回程度) ・JAにおいての学習会開催促進 ★ JAへの女性参画促進 <ul style="list-style-type: none"> ・女性の運営参画県域指標にもとづく参画促進 正組合員加入:50% 総代への就任:30% 理事への登用:15%

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
ウィメンズスペース 花	<ul style="list-style-type: none"> ★ 定例会(月2回) 性暴力被害についてなどの学習会を行う。 ★ DV被害者からの電話相談を受け、関係機関を紹介するなど行う。(月2回) ★ 和歌山県DV被害者支援ネットワーク会議に参加する。
ウィメンスタディズ熊野	<ul style="list-style-type: none"> ★ 講師派遣 <ul style="list-style-type: none"> ①学校でのデートDV防止講座(講師:村上 恵美子) 和歌山県立新翔高校2年生、新宮市立神倉小学校6年生、新宮市立王子ヶ浜小学校6年生、那智勝浦町立太田小学校保護者会 ②東牟婁郡DV被害者支援ネットワーク会議(講師:村上 恵美子) ★ DV被害者・児童虐待相談事業 面談及び電話相談(随時) 会場:新宮市福祉センター、井の沢隣保館 等 ★ 和歌山県DV被害者支援ネットワーク会議(於:和歌山市、新宮市) ★ 県庁啓発事業への参加
つばさの会・和歌山	<ul style="list-style-type: none"> ★ 「紀風苑」(和歌山市岩橋)のイベント「紀風バザール」に参加しました。お抹茶の提供、模擬店への出店などをおこないました。(4月30日) ★ これまで「つばさの会・和歌山」に関わって下さった多くの方々の「再会」のきっかけになればと「同窓会」を企画しました。 第1回目は和歌山市「りいぶる」で開催しました。(9月10日) ★ 和歌山ビッグホエールで開催された『ふれあい人権フェスタ』に出展しました。アリーナ内ブースにてパネル展示や「プラ板づくり体験」を提供し、多くの参加者がありました。(11月11日) ★ 第2回目の「同窓会」は田辺市(『もとじゃ』)で開催しました。(11月19日) ★ 第3回目の「同窓会」は那智勝浦町(『Hanai』)で開催しました。(1月28日) ★ 会長の稲垣恵つ子が『地域で活躍する人材育成フォーラム』(わかやま楽落会主催)のイベントに参加。和歌山大学食農総合研究所の植田淳子氏と対談を行いました。(2月3日) ★ 年間二回発行した会報(『ねっとわーく』)を通じ、会員の皆さんに会の状況報告や各種告知をおこないました。
和歌山イコール会議	<ul style="list-style-type: none"> ★ 和歌山イコール会議第5期(H29.10~H30.9)総会 会員52名出席 <ul style="list-style-type: none"> ・初めて和歌山市以外の地域(田辺市、ビッグU)で開催した。 ・第5期全体事業計画及び部会等での事業計画を承認。また、新たに県内4エリアに分かれて活動する「地域ブロック会議」を創設することとし、このための会則変更を承認した。 ★ 総会記念事業 約80人参加 *会員向けの交流を中心に開催 多様な生き方応援部会が企画運営し、仁坂吉伸知事をアドバイザーにお迎えし、パネルディスカッションを実施した結果、会員同士が多様な生き方・活動を共有し、今後にむけて大きな推進力をいただきました。 <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングmini公演~ストーリーテリング「昔話を語る」 演者 堅田凱子さん ・第1部 イコール会議活動トピックス報告 副代表 金川めぐみ ・第2部 パネルディスカッション 「生き方いろいろ、聞いて話して元気UP!」 アドバイザー 仁坂吉伸様(和歌山県知事) 松原敏美(イコール会議代表) コーディネーター 水上久美子(会員) ★ 部会・ブロック会議 <ul style="list-style-type: none"> ①地域づくり部会 男女共同参画による住みやすい地域をめざして活動した ・2015年に県内1,200人に実施した「地域課題についてのアンケート調査」結果から抽出された3つの柱に沿った活動の1つとして、「まずは和歌山の地域を知ろう!」を合言葉に、和歌山藩主徳川家墓所(長保寺)での県の「文化財保全ボランティア活動」に参加した。 ・災害に強い地域づくりをめざし、防災部会、防災PTと連携し活動した。

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	<p>②防災部会・防災PT 災害時や復興時における男女共同参画による取組が進むことをめざし活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害と女性の問題を考えるきっかけづくりや災害時の県内女性ネットワーク構築にむけて、第3回目となる「和歌山イコール会議防災セミナー」(3部構成、一般参加可)をみなべ町で、地域づくり部会と連携し実施した。今回はみなべ町内の2つの女性団体(みなべおかみ元気会、母の木会)との共催のもとに実施した。このセミナー開催は、同町内の女性団体同士の初の参加交流や、若年層の会員確保につながった。 「かけがえのない命を守るために～地震・津波に備えよう～」 講師：栗山 善行さん(日高振興局総務県民課長) 「県政お話し講座」を活用 「災害時のサバイバルクッキング 体験&試食」 講師：三國 和美さん(栄養士グループNAGA会長、地域づくり部会員) 「マイ・トイレを作ってみよう！」 講師：市場 美佐子さん(防災士、防災部会長) 山下 真理さん(防災士、防災部会員) ・海南市の協力依頼を受けて、「災害時の調理体験セミナー」を3か所で開催した。 会場：亀川公民館、塩津小学校、下津コミュニティセンター 講師：三國 和美(会員、栄養士グループNAGA会長) 調理サポート：部会員 <p>③働き方部会 男女共同参画のもとに女性が活躍できる社会・職場をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く女性応援リーフレット(おせっかいシリーズ第3作目)作成に向けて自主学習を続ける中、県の出前講座を活用したオープン講座を子育て介護環境部会と連携し開催、保育と子育て支援の現状などについて学んだ。 「安心して子どもを預けるには、どんな施設や団体をどう利用する？」 講師：細川 裕之さん(県子ども未来課主査)※一般参加可 ・シリーズ第3作目を「保活編」として作成することを決定、内容協議を継続的に行った。 <p>④子育て・介護環境部会 女性が専ら担うことが多い子育て・介護での男女共同参画をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方部会と連携し、働く女性応援リーフレット(おせっかいシリーズ)第3作目(保活編)の作成に向けた取り組みや第2作目(介護編)の配布に、働き方部会と連携し取り組んだ。 ・イコール会議設立5周年記念事業の企画など、開催にむけて継続的に協議を行った。 <p>⑤暴力防止部会 女性に対する暴力の根絶をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVやデートDV防止のための活動にむけたオリジナルの啓発グッズや啓発手法を考案した。 ・人権フェスタ2018(和歌山ビッグホール)に出展、DV防止ブースを運営、女性へのあらゆる暴力の根絶を訴える「パープルリボン」を活用し「降り続く暴力の雨が止みますように」という願いを込めた傘をつくるなどの啓発活動などを行った。 <p>⑥多様な生き方応援部会 多様な生き方や活躍を知り学ぶことによる女性のエンパワメントをめざし活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白浜町と田辺市を会場にフィールドワークを実施し、チアダンスチーム見学、救助犬訓練体験、FMビーチステーション出演、田辺市消防署での意見交換などを行った。 ・第5期総会の記念事業(「生き方いろいろ、聞いて話して元気UP!」)及びフィールドワーク(南方熊楠記念館見学、押し花キーホルダー作りを2日目に実施)の企画・運営を行った。 <p>⑦地域ブロック会議 地域ごとの課題解決を目指して活動した</p> <p>“りいぶる”を中心に殆ど和歌山市内で開催される各部会には、遠方の会員の出席が大変なことから、会員居住地による4ブロック(和歌山、紀北、紀中、紀南)に分かれる「地域ブロック会議」を新たに設け、それぞれ地元地域で開催した結果、今まで参加が少なかった会員の出席や会員同士の新たな交流に繋がっている。</p>

第4章 県民の皆さんの取組状況

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> 各ブロックでは、まずは交流を図ることからスタートし、各地域の現状などを話し合い意見交換を行った。 〈各ブロック会議の会場〉 和歌山ブロック:県男女共同参画センター 紀北ブロック:紀の川市役所 紀中ブロック:有田川町交流センター 紀南ブロック:田辺市男女共同参画センター ★ その他(参加・協力) 【参加】 ・「県就活&サイクルプロジェクト」キックオフイベント ・県男女共同参画特別公開セミナー(講師:浜 矩子さん) ・イクボス養成セミナー(有田会場) 【協力】 ・2025日本万国博覧会誘致委員へ会員登録
和歌山友の会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 乳幼児、小学生、中学生の親の集まりを行った。 年間8回、延べ33人参加 ★ 夏休み子ども料理教室開催 橋本市立あやの台小学校の小学生13人参加 ★ 夏休み子どもの集まり 幼児・小学生 9人参加
特定非営利活動法人 和歌山eかんぱにい	<ul style="list-style-type: none"> ★ 男女共同参画推進に関わる広報、啓発活動事業(平成29年4/1~平成30年3/31):「和歌山県男女共同参画センターりいぶる一部委託事業」受託 ★ 男女共同参画推進に資する人材育成事業(2/24、3/3、3/11) ・エンパワー・エンカレッジ研修会2017ココロの「女子力」up! 講座「アサーティブを身につけよう♪ ココロがつながるコミュニケーション」講師:谷水美香さん(参加者:55人) ★ 人権尊重意識の更なる醸成にかかわる事業 ・「南半球から考える、日本のジェンダー~アルゼンチンの女性活躍事情~」講師:飯塚友佳子さん(参加者:17人) ・りいぶる『みんなに男女共同参画』提案事業「ヒューマンライブラリー」講師:6人の多彩な本となるゲスト(参加者:71人) ・ニュースレター発行年1回(1回200部)
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO	<ul style="list-style-type: none"> ★ パパの子育て支援 ・子育てパパの集まり(イクメンPaPaの会)の会議を月1回定期的に開催、パパ主催の企画を立案したり、子どもたちの遊びの企画の時に、主体的にかかわりを持てるように準備したり「遊び」を通じて子育てに積極的にかかわる父親を増やす活動を継続して行っている。 ・自主企画として、海あそび・水鉄砲大会(9月)、雪遊び(2月)に取り組んだ。自然に親しみながら、ダイナミックに遊び、家族、子どもとのきずなを深める活動を行った。ウォークラリーをはじめ、親子キャンプ、秋祭り等きのくに子どもNPO主催の様々な行事へスタッフとして積極的に取り組んでいる。 ・ソフトバレーボール大会や外遊びを通じて次世代の親になる若い青年・中高生ともつながり、世代間交流を積極的に行っている。 ・その他、「凧揚げ大会」などでコマ、ベーゴマを中心に遊びのリーダーとして子どもに遊びを伝授している。集団遊びも行っている。また参加した父母が「遊び」を楽しめるように、コマや竹馬を教えている。 ★ 「子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす」 支援 ・きのくに子どもNPO会員と地域の有志(大学教員、学生ボランティア、調理ボランティア)の方が協力して、「子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす」を設立。特に地域で孤立しがちな「母子家庭・父子家庭」の支援を行っている。 ・29年度は、週1回(木曜日)の「無料学習支援とみんなでばんごはん」を食べる居場所「こ・はうす」に加えて、火曜日に「こむすび塾」を開催。「こ・はうす」とは違う地域での開設により、近くの居場所へ通う環境ができ、より多くの子どもに利用が広がった。 ・利用している家族の保護者からの子育てや、学校の対応について等の相談にも応じている。 ・引き続き、幅広く地域に支援を呼びかけ、行政にも施策の必要性を働きかけている。

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)</p>	<p>★ 地域子育て支援拠点事業 「ほっとルームぐるんば」の開設。(和歌山市委託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進。 ・子育てコーディネーターによる子育て相談・援助の実施。地域の子育て関連情報の提供。 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ・ぐるんばのママの会「ほっとちゃん」。ぐるんばに来ているママたちがぐるんばを親たち自分自身の居心地の良い場所にしていけるよう自主的な活動を行っている。その中で、育児だけでなくママ達が抱える様々な問題について、話し合いを持ち社会と関わるきっかけとなっている。 ・「ぐるんばメール」、ママ・パパの投稿による「TWEET」発行。ぐるんばママ講師による「小さな手づくりの会」など、子育て中のママをエンパワメントするための事業。 ・わらべうた、かみしばい、遊びの会、舞台鑑賞などにより、子どもが豊かに育つために「大事なこと」を具体的に若い世代に伝えている。 ・そと遊び、水遊びを取り入れ、五感を使って自由に遊ぶ楽しさや気持ちよさを体感できるように取り組んでいる。ネットやスマホ環境から離れて、自然の生き物との出会いや遊ぶことの大切さをママ自身にも感じてもらえるよう折に触れて伝えている。 <p>★ 和歌山市ファミリー・サポート・センター(和歌山市委託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てを援助してほしい人と子育てをサポートしたい人をコーディネートし、地域で安心して子育てできるようにサポートする会員組織の運営。(平成30年3月末、全会員数 1471人) ・病児・緊急対応強化事業 子どもの病時病後時の保育に対応している。 ・ファミリー・サポート・センターは一時保育をコーディネートする役割だけでなく、子育て家庭のセーフティネットとしての役割が大きくなっている。地域での相互援助活動の枠に入りきらない継続的援助、専門的な援助が必要なケースが増えている。行政機関や民間の支援施設等と連絡を取りながら可能な支援情報を提供するなどして、相談を受けている。 ・講習会の開催(年3回)。会員登録(スタッフ会員・提供会員・両方会員)を希望する市民に対し、子育て支援の意義や役割を理解し、具体的なスキルを学ぶ講座(24時間)を実施。サポートする会員の増加に努めている。講座は、子育て中の母親の受講も増えており、受講をきっかけに仕事や社会的活動を始める人もいて、母親のエンパワメントにつながっている。 ・交流会 サポートする会員のスキルアップのため、交流会を実施。普段顔を合わせることの少ない「スタッフ会員」「提供会員」が活動内容について気になることを話したり、意見交換する機会を作っている。 ・学習会 子育て中の方とそれを支援したい方がよりよい子育て環境を作っていけるよう、また広く市民にファミサボを知ってもらうために「春を呼ぶソプラノピアノコンサート」を開催。当日は、大人も子どももたくさん参加し、生演奏を聴き、よりよい文化に触れる機会となった。 ・地域交流会 地域にファミサボを広め、会員同士交流できる場として市内5か所で「ファミサボキャラバン」を開催。ファミリー・サポート・センターを知ってもらい、身近に感じてもらうきっかけにもなっている。 ・「広報誌」、「会員交流紙」、インターネットでの発信等ファミリー・サポート・センターをより多くの人に知ってもらうための広報活動を行っている。 <p>★ ベビーシッター「きのくにっこ」「きのくにっこmini」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもを持つ家庭を支援するために、必要に応じて一時的保育を提供している。 ・母親、女性対象の講座や勉強会、演奏会などの時の一時保育(グループシッター)を受けている。 <p>★ 「養育支援訪問事業・家事援助業務」(和歌山市)</p> <p>「和歌山市母子家庭及び寡婦、父子家庭生活支援員派遣事業委託」を受託。支援が必要な子育て家庭に対して、支援員を派遣し、行政との協力の下に子育て家庭を支えている。</p>

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 児童発達支援 親と子の広場・アン、ポコ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長・発達に不安のある乳幼児を対象に、リズム遊びお絵かき、外遊びや散歩など遊びを楽しみながら五感（見る・聞く・触れる・におう・味わう）を刺激し、丈夫な体作りと豊かな発達を保障することを目的に活動している。保護者同士がつながりあえるよう親の会、学習会を行っている。併行通所もおこなっている。 ・保護者で実行委員会をつくり、遠足や製作、ごっこあそびなどの行事を行っている。自分たちがしたい事、子どもが楽しめることなどそれぞれが考え、会議を重ねている。みんなで作り上げたことで達成感を感じ、自信となり、エンパワメントにつながっている。 障害者支援課など行政との話し合いの場にも、保護者が積極的にかかわっている。 ★ 子どもの居場所「チャティーもあ」 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日に子どもの居場所を開催。絵本の読み聞かせ、読書活動、アート制作、外遊びと様々な活動を行っている。土曜日仕事している家庭の子どもの「学童保育」としての役割も持っている。子どもたちは話し合いをしてやりたいことを決め、実行している。集団での活動が子どもたちの自主性や協調性を育てている。プレーリーダーが丁寧にかかわることで、お互いに違いを認め合い、尊重し合うことができるような集団となることをめざして活動している。 ★ 長期休暇学童保育事業 「あみハウス」 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに家で留守番している子ども対象に、長期休暇にしかできない遊びや集団での遊びを体験し、仲間づくりができるような学童保育を実施。仕事で一日家を空けている保護者が安心して子どもを預けられる場を提供した。 ★ 子どもに関わる人たちの学習交流、人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「幼児」、「小学生」、「中高生」と子どもの年齢別の親の会を開催。その時の保護者の関心をテーマにして学習交流会を開催。本音で語り合える関係を作り、親同士つながり、お互いエンパワメントしていける場になっている。
<p>特定非営利活動法人 のびのびキッズ海南</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 学童保育室7カ所で実施(海南市受託事業) ★ 劇団風の子による「風の一座」の公演(6月4日) 市内の体育館を借り、あそびとお芝居のイベントを実施。100名余りの親子が来場してくれました。 ★ 漆器まつり出店により参加(11月5日) 千本引き、ヨーヨー、ストラップ作り ★ 県、市の団体から依頼された一時保育事業 <ul style="list-style-type: none"> ・3日:子ども11人 ★ 個人から依頼された一時保育 <ul style="list-style-type: none"> ・36日:子ども36人
<p>一般社団法人 ガールスカウト和歌山県連盟</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 自然体験、国際交流、ボランティア体験などを通じて、考える力、行動する勇氣、協調性、相手を思いやる心・判断力等を養い将来にあらゆる状況の時も、自分で判断し、自他の幸福を願って行動できる女性の育成。 <ul style="list-style-type: none"> ・年代別のキャンプの実施(野外の技術習得、災害時に役立つ救急法や調理の実習) ・「ダメ・ゼッタイ」薬物乱用防止普及活動と街頭キャンペーン参加 ・全国一斉イベント(ガールスカウトの日)の実施し、少女がガールスカウトを通じて、仲間と協力して楽しみながら行うプログラムを通じて、「生きる力」が身に着くことを伝えた。 ・コミュニティアクションチャレンジ100に参加。コミュニティに変化をもたらすプロジェクトに取組み、日本連盟にエントリーし、和歌山の中高生チームがチャレンジ賞を受賞した。 ★ stop the violenceキャンペーンに取り組む。これは2011年より世界のガールスカウトが「少女に対する暴力をなくすグローバルアドボカシーキャンペーン」のこと。このキャンペーンで強調したいのは、少女を助けるだけでなく、少女が力をつけること。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本連盟の「みんなで作る差別と暴力のない世界」をテーマとしてキャンプに高校生を派遣した。 ・近畿地区の中学生が集まり「女の子が作る暴力のない世界」の話し合い事業を開催した。

第4章 県民の皆さんの取組状況

取組団体名	取組事例
一般社団法人 ガールスカウト和歌山県連盟 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ★ free being me 日本語訳では「大好きな私」キャンペーンに取り組んだ。これはガールスカウトの世界連盟とダブ(スキンケアの世界的なブランド)との協働プログラムのこと。 容姿に自信が持てずにいろいろなことにチャレンジできない少女が多いことを受け、自分の長所に自信を持つようなカリキュラムがあるプログラムに取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・そのプログラムを指導できる指導者の育成のための研修会を実施。 ・「自分の長所に自信を持とう」をテーマにした日本連盟のキャンプへ高校生を派遣した。
一般社団法人 和歌山県助産師会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 育児相談：1回/月 和歌山県下3か所（紀北・紀中・紀南）において実施 ★ 電話相談：月～金曜日の10：00～16：00に担当者を決めて実施 ★ 思春期講座：海南市の委託を受けて海南市内の各中学校に出向き、3年生を対象に実施 ★ 紀美野町の産前産後訪問 ★ 和歌山市「子育て世代包括支援センター」運営 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は和歌山市の4か所の保健センターに18人の会員（途中7人休退職、3人新採用）を交代で派遣し、妊娠届出書の受理、面接、相談、情報の提供等を行った。 保健師との合同会議を2回開催し、業務内容の検討を行った。 母子健康手帳の発行 2,349件 来所相談業務 688件 電話相談業務 214件 ・近畿地区研修会で子育て世代包括支援センター事業の経過を発表した。(10月15日) ★ 有田川町「産前・産後サポート事業」 平成29年10月から1名の会員を常勤として雇用し、産前の電話勧奨、産前・産後の訪問指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 電話相談（妊娠20、28、36週に実施） 173件 妊婦訪問 60件 新生児訪問 39件 ★ 第1回母子保健コーディネータースキルアップ研修会（県委託事業） テーマ：研修1「精神の健康問題を持つ妊産婦のスクリーニングとそのアプローチ」 研修2「支援を要する妊産婦の継続的な把握と支援プランの策定」 日 時：平成30年1月18日（木） 場 所：和歌山県立医科大学保健看護学部 第6講義室 参加人数：75名(助産師30名 内会員25名・非会員5名、保健師45名) ★ 第2回母子保健コーディネータースキルアップ研修会（県委託事業） テーマ：研修1「社会的ハイリスク事例のスクリーニングの方法や支援の実際」 研修2「妊娠SOS相談対応パッケージ研修基礎編のダイジェスト版」 日 時：平成30年3月2日（金） 場 所：田辺市生涯学習センター(市民総合センター内)4階 交流ホール 参加人数：55名(助産師19名 内会員18名・非会員1名、保健師36名) ★ 和歌山県女性会議参加
和歌山県母と子の健康づくり運動 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 母子保健指導者研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子育て期の家庭への地域に根ざした支援に向けて、積極的に取り組むことができるボランティア（母子保健推進員）のスキルアップを図るために研修会を開催し、278名の参加があった。 ・講演「産前産後のお母さんの気持ちを理解したコミュニケーション」 ★ 母子保健・健全育成住民会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業を活発に推進し、保健師・保育士・母子保健推進員など子育てを支援する職種や子育て中の一般住民等の参加による大会を開催し、384名の参加があった。 ・展示パネルによる地域の母子保健推進員活動の紹介 ・地域での子育て支援の活動及び実践報告 「子ども達のために～地域に根ざした助産師活動～」 ・講演「発達障害の理解と親への支援 ～子ども達の困っていることを知ろう～」

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
和歌山県母と子の健康づくり運動協議会 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ★ 各支部（振興局単位）における活動 <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に関する研修会 ・親子教室等の開催 ・家庭訪問等の活動時に子育て支援や子どもの病気、事故予防に関する啓発リーフレット等を配布
和歌山県婦人団体連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 子ども・地域・ふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代に安心を送ることを目的に、地域で子どもを育て、護る。サポートする会員自身が活動を通して、豊かな心を育む機会と場を提供しながら様々な活動に取り組んだ。（和歌山市と紀の川市の2地区で実施） ★ 人権を考えるつどい <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題について正しい認識をもち、私たちの日々の暮らしの中で起こる様々な問題について、女性の視点に立って考え、学び、地域の実状に即した人権学習の推進をはかるとして開催。テーマを「明るく、前向きに、今日を生きる」として有田市民会館に100名が参加した。 ★ リーダー研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の推進と地域社会における様々な課題について、認識を深め、ともに学び、ともに語り合う。さらに地域婦人会としての時代に対応した活動の見直しにより自立的な組織をめざすことを目的に、和歌山県JAビルに会員120名が参加し、講演、子ども・地域・ふれあい事業の発表、各種事業への参加報告等を行った。
和歌山県生活研究グループ連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 女性農業者の積極的な経営参画に向け、各地域でリーダー研修会や経営研究会等を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・加工技術向上研修会の開催 ・女性起業者の経営能力向上研修会等の開催 ★ 機関紙の発行（年1回） ★ 女性・高齢者グループ等の活動評価とPRのため、表彰事業や講演等への積極的な参加 <ul style="list-style-type: none"> ・「むらとくらしを考える会議」 女性・高齢者グループ表彰式、活動事例報告他 参加者 約160名